

【概要】

平成22年版の「公共建築工事標準仕様書」および「公共建築改修工事標準仕様書」の改訂ポイントは下記の通りです。

- 1) 地球環境への配慮
- 2) 安全・安心の確保への対応
- 3) コスト縮減に資する仕様の標準化への対応
- 4) 法令改正への対応
- 5) JIS、JASS等の規格の改正内容への整合
- 6) 技術革新への対応及び施工実態の反映

塗装・塗料に関する内容の主な改定ポイント(抜粋)

一般事項

塗料のホルムアルデヒド放散量に関しては、平成16年版の内容に戻して屋内に限定してFの使用を規定。

素地ごしらえ、下地調整

【木部】

JIS K 5431 セラックニスのJIS廃止に伴い、JASS 18 M-304 木部下塗り用調合ペイントが採用された。

JIS K 5591 油性系下地塗料に代わり、穴埋めはJIS K 5669 合成樹脂エマルジョンパテ(耐水形)が採用された。

但し、合成樹脂エマルジョンパテは外部に用いない。

【せっこうボード面】

合成樹脂エマルジョンシーラーを用いた吸い込み工程があったが、つや有合成樹脂エマルジョンペイント(EP-G)、合成樹脂エマルジョンペイント(EP)の塗装仕様の工程に下塗りとして追記されたため、削除された。

錆止め塗料塗り

JIS K 5622 鉛丹さび止めペイント、JIS K 5621 一般さび止めペイント1種とJIS K 5625 シアナミド鉛さび止めペイント1種が削除され、JIS K 5674 鉛・クロムフリーさび止めペイント2種(水系)が採用された。

フタル酸樹脂エナメル塗り

18章(新設)のフタル酸樹脂エナメルが削除され、7章(改修)のみとなった。

アクリル樹脂エナメル塗り

18章(新設)、7章(改修)とも、JIS規格廃止に伴い、削除された。

耐候性塗料塗り

鉄鋼面 2液形ポリウレタンエナメル塗り、アクリルシリコン樹脂エナメル、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗りはJISが統合されたため、JIS K 5659 耐候性塗料塗り(DP塗り)に一本化された。

木材保護塗料塗り

JASS 18 M-307適用の木材保護塗料塗りが18章(新設)、7章(改修)ともに採用された。

マスチック塗材塗り

塗料塗り工程の「マスチックB」が削除された。